

安全キャンペーン

自分のために、仲間の
ために、家族のために、
安全の確保！！

Contents

- ★25周年特別寄稿
・「25周年を迎え期待すること」
見勢井 顧問
- ★8月例会案内 8月28日
研修会：広島県緑化センター
《森で使える救急法 他》
..... 2, 3
- ★7月例会報告
7月18日「狐原山」
報告：堺(1班)
..... 4
- ★部会報告 <7月>
・クラブ部会：佐藤
・里山部会：岩田
..... 5
- ★部会報告 <7月>
・環境教育研究部会：佐々木
- ★森から防災イベント報告
..... 6
- ★樹木いきいき講座<その13>
：藤原(3班)
- ★今月のひと枝：ヤブガラシ
..... 7
- ★8月・各部の活動予定他
..... 8



刈り払い機の講習を受け、実践に励む山本薫さん(5班)：P4にて狐原山例会報告

私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆イオン幸せの黄色いシートキャンペーン
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり

〈 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 〉

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える：恵みを利活用し、拡げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！
全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。



25周年を迎えて期待すること

顧問 見勢井 誠

修 了生でグループをたちあげましょう！と、1996年度に始まった第1期もりメイト養成講座が終盤を迎える頃、事業PRのため広島テレビに共に出演した現理事長の山本恵由美さんから、「自分が事務担当をするから代表をして欲しい」と相談がありました。彼女は学生時代から様々な市民活動に関わり、多くの団体を立ち上げてきており、「森林整備の重要性を知ったからには活動を継続したい」という皆さんの思いを代弁して行動を起こしてくれました。

西 日本の異常渇水の記憶が新しく、森林への関心が高まる機運の中、この事業には約180名の応募があり、選考された30名の受講生はその分まで学んで身に付け、活かさなければという自負があったように思います。私自身も広島県森林インストラクターや自然観察指導員として何か活動を広げたいと思っていた矢先でしたから、善は急げということで修了生と指導者、関係者で結成会議を開きました。マスコミの取材も2社あり、『森林ボランティア もりメイト倶楽部 Hiroshima が立ち上がる』と大々的に掲載され、もう後には退けぬ覚悟へ。毎月第4日曜日に例会で集うことを決め、提供のあった白木町大椿の大椿神社裏山のフィールドで活動を始めることに。当初から今と変わらぬ多人数が参集し、技術の研鑽もしながら交流する例会は毎月の楽しみとなっていました。

特 筆すべきことは初年度から広島市民参加の森づくり事業「みどりの体験ツアー」等に講師派遣が始まったことです。将来に向けて外部からの様々な要望に応えられる人財育成を視野に入れて強化してきたことが、自治体や企業等の多くの受注を可能にした今につながっています。会員も着々と増えていった約3年後から「もっと活動日を増やしてほしい」等々の声に応え次々に部会を発足して、細分化しながら得意分野を掘り下げて行く展開へと成長していきました。現在の6月第1日曜日に開催される「ひろしま山の日」の契機は、2002年2月東広島市で3日間開催された「第7回森林と市民を結ぶ全国の集い」。森林活動団体で結成した実行委員会の事務局長を任され、メンバーも運営や分科会の役員を担い、この時の大会決議によってこの年以來、広島県内の各市町で開催されています。➤

中国新聞 (1997/4/20 朝刊)

森林再生サポート

広島市

ボランティア講座生も 植林や地元交流も

広島市でボランティア講座を受講する市民が、市内各地で植林や地元交流などを行っている。ボランティア講座の受講生は、毎月第4日曜日に例会で集う。例会では、講師の指導のもと、植林や地元交流などを行っている。また、市内各地で植林や地元交流などを行っている。ボランティア講座の受講生は、毎月第4日曜日に例会で集う。例会では、講師の指導のもと、植林や地元交流などを行っている。また、市内各地で植林や地元交流などを行っている。

市民の歌声に 核廃絶の願い
中区 7月公演 出演募る

市内のコーラスグループによる核廃絶の願いを歌った「核廃絶の願い」の公演や、広島市出身のジャズピアニストによるコンサートは今年度、8月に広島市で実施される。

1997/4/20 中国新聞朝刊にて

案内



2022年8月例会は研修会！

【担当3班】

《森で使える救急法&ヒヤリハットから安全を学ぶ》

8月は、研修会を行います。山中で何も揃ってない場所での“もしも”に備えて救急救命士(5班：高橋氏)による救急法を学びます。昼からは、ヒヤリハットの事例を通し、原因・対策をさぐりながら皆で安全について考えます。命を守るための大切な講習会です。家族、仲間、友人のためにも是非ご参加ください。必ず役立ちます。



イラストは「森づくり安全技術マニュアル」森づくり安全技術・技能全国推進協議会発行より。

第

1回目は東広島市の開催でしたが、当会は白木町で地域住民と一緒に活発に活動しており、本来は自分達で整備した中世の山城「北田城址」での開催を主流にすべきと考え、舟入高校のブラスバンド部による吹奏楽や地域の方達による出店を開き盛大な祭りを行いました。新聞には東広島市と白木町のイベントが並んで同じように掲載され関係者はビックリした次第です。

さらに独自の活動に留まらず、全国で9カ所に桜の植林を行う「MOTTAINI キッズ植林プロジェクト」の広島誘致。現在は認定 NPO 法人ひゅーるぼんの社会福祉施設のウッドデッキに間伐材を提供し、共同で制作。そのほかエコ祭り『環ッハッハ in よしじま』や宮島の鳥居の木材を地元で育てる『悠久の森』プロジェクトに招聘されるなど、数えきれないほど実に多くの交流を積極的に構築していきました。

この倶楽部の特徴は、決して内向きにならないこと。先述したように大学時代から活発に活動している現山本理事長の顔の広さでアイデアやネットワークを屈指して、一地域だけに拘らず活動を通じて一緒に地域を盛り上げていくことに重点を置くスタンスが確立できたことです。広島市内だけでなく大竹市・呉市・廿日市市・福山市・三原市・三次市・山口市・下関市など広範囲にわたって、倶楽部の名声や啓発を広げることができました。

気がつくと 25 年。継続できた理由は共通認識を持つ多くの仲間と共有する非日常の活動の面白さや爽快感。学びや感動、楽しさがあつたからこそです。25 周年を迎えた今、今後益々、私たちの活動は重要度が上がるという認識の下、皆さん一人ひとりが本気で「つなぐ力」を発揮され、友人知人に倶楽部への理解を通して、環境保全、森づくりの大切さを未来へ伝えていく再チャレンジの年にしてもらいたいと心から願っています。



倶楽部創立4年目(白木町三田大椿共有林にて)2001年2月15日



2006年度総会(白木町井原 北田城跡にて)4月23日

◆日 時： 8月28日(日) 9時00分～

◆会 場： 広島県緑化センター研修室

※ 広島市東区福田町 10166-2

◆持参物： 弁当・飲み物・名札

◆申込み： 8月22日(月)までに各班長へ連絡。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は
下記へ電話かメールにてご連絡下さい。

090-6419-7531 : info@morimate-ch.com

～9月例会は、25日の第4日曜。大竹市松が原に位置する河平連山(通称; 飛行機山)の登山道整備を予定しております。詳細は9月号会報にてご案内いたします。～



「もりメイト倶楽部さんの力があってこそ、ここまで出来ました！」湯来フ口の皆さんから感謝の言葉。



作業を終え、ホッとひと息。きれいに刈られた斜面をバックにパチリ。おつかれさまでした！

今にも雨が降り出しそうな空模様の中、7時半から、湯来ふるさとプロジェクトのメンバーの方々と共に、テント設営などの準備を始めました。8時半には検温を済ませ、参加者全員が集合。見勢井もりメイト倶楽部顧問、湯来ふるさとプロジェクトから松波勝子副会長のあいさつに続いて、今回担当の1班 和田班長より本日の作業説明があり、A班か

らD班の4グループに分かれて、それぞれ駐車場間際の山裾の刈り払いと、散策道周辺の刈り払いを担当する事になりました。

また、E班では鎌田さん(2班)を講師に迎え、刈り払い機初心者に向けて、操作方法についての説明と実習が行われました。

散策路(遊歩道)周辺は、雑草や笹に覆われて非常に歩きにくい状況で



ありましたが、幸い柔らかい草が中心で作業は順調に進みました。階段際や細かいところは鎌で手刈りを行いきれいに整理した後、熊手やほうきで刈り取った草を処理し、見違えるような散策路になり、来年の春には多くの方にお花見を楽しんでいただけたと思います。蒸し暑い中、皆さまご苦労様でした。

11時過ぎには作業は完了し、使用した道具の手入れを終え、終礼でそれぞれの班より作業報告がありましたが、ヒヤリハットの報告もなく安全に作業を完了しました。

終礼後、湯来プロジェクトのメンバーの方の心づくしの七夕汁(七夕にちなんだ具の入った冷やしそうめん：おいしかったあー)をいただきました。ありがとうございました。



天狗巣病について詳しく説明して下さる、井本さん。地元湯来から駆け付けて下さいました



長柄鎌の使い方を教わり、だんだん上手になりました。



湯来プロの皆さんが作って下さった「七夕汁」。ヒンヤリ冷たく美味しかったです！



～終わりの会での感想から～

「山にはよく登るのですが、これだけの人が参加して遊歩道を作ってくださっている事をはじめで知りました。感激です。」HPを見て連絡下さり、西区からご参加頂いた男性。

「すべてが初めての体験で、とても新鮮でした。この様な方々によって山がきれいにされているんだ。すごいなあと思いました。」湯来プロのチラシで五日市から一般参加の親子。





★7月部会は鹿ヶ谷基地の里山の木々の緑が濃く輝き、午前はクマゼミ、午後はヒグラシが鳴き出し、時折スズメ蜂、トンボが飛来する鹿ヶ谷公園の中、基地周りの雑木の整理、クラフト部材の製作と、間伐材の製材・ゆうゆう木育クラフト（竹プロペラ）部材製作、部員各自の趣向による作品作り（磯貝さん趣向のF-1カー8台完成）を行いました。今後も楽しく集い活動出来たらいいなと感じた7月でした。

8月も参加者のそれぞれの好みによる創意工夫したクラフトを、部員各自の考案と木工技術のスキルUPを図る取り組みをしていきます。また、各部会と連携しての作業にも取り組んでいます。里山部会の活動の場である妙國寺における納屋の整備（スクウスクウの森PJ）や、環研部会の松が原フィールドでの8月開催予定のキッズクラフト用部材の考案を行いました。興味のある部員の皆様一度覗いてみてください。7月参加者 33名



磯貝・本廣両元部会長の
ミーティング



クラフト用ツバキの実天日干し。
(カブトムシ・テントウムシ用)



間伐材(200mm 杉皮剥ぎ)



レーシングカー8台(磯貝作)
製作工期2年!



今回はまず、小川フィールドのオーナーの一人でもある新宅さんから、お墓に倒れかかったシラカシの除伐を依頼されていたので、選抜メンバー（北野・富田・坂本・岩田・午後から佐藤）の5名で取り掛かりました。伐倒方向・伐倒方法などを皆で綿密に検討し、木の上に登り、枝を一本一本丁寧にロープを掛け下ろすことにしました。この度は70%の達成で無事終了。その後も引き続き、休憩時間もほどほどに、昼食を済ませすぐに作業に取り掛かりました。

特に、坂本さんは、消防のレスキューの経験を存分に発揮され、木の上の作業の枝落としは、彼がいなければ到底できなかったでしょう。やり残した作業は、引き続き8月に行います。これとは別働隊ですが、倒木処理と除伐作業を波多野副部会長を中心に行いました。また神ノ倉から持ち帰った桜の木のチェーンソー製材を竹原さん主導で行いました。

昼食には、明野さん提供の茄子と胡瓜、新宅さんからは、茄子・胡瓜・西瓜・ドリンクの差入れをいただきました。茄子は焼きナス、キュウリや西瓜は冷やしていただきました。皆さんの暖かい心遣いに感謝です。

今回は、ヒヤリハット報告がありました。2つのグループ（波多野班・岩田班）が、それぞれでチルホール（ロープ）を使い作業を行いましたが、いずれも、チルホール（ロープ）の引きの速さとチェーンソーの切り具合の連携が悪

く、想定通りの伐倒が出来なかった事例が上がりました。

どちらも事故には至りませんでした。チルホールを使って正確な伐倒をするためには、チェーンソーの操作と、チルホール（ロープ）の連携を確実にすることが大切であり、この事は以前から何度も繰り返し指摘され、指導があったにもかかわらず、未だに確実な操作が出来ていない現状を目の当たりにし、改めてリスクマネジメントに取り組む必要性を強く感じました。参加 16名。

次回の里山部会は、8月7日（日）地域貢献活動の防火水槽周りの草刈り、水路清掃を行います（7時50分小川Fに集合）。部会としては、駐車場近辺の草刈りを行いますので、車は駐車場の奥の通路に止めてください。



作業日：2022年7月16日(土) 参加人数 6名

作業場所：大竹市松ケ原キッズフィールド

今にも雨が降りそうな天候の中、松ケ原フィールドの整備を行いました。主な作業は、Cフィールドへ向かう道が歩きにくくなっており、その箇所の歩道の整備を行いました。また、小川に架かる橋が朽ちたり不安定だったりしていたので、安全に渡れるように架替えを行いました。許可を頂いているCフィールドの杉の木を伐倒し、その材を橋に利用したのですが、約4mに玉切りした杉の木を運び出し小川に渡すのは、男性5名の力でも大変



な作業となりました。ちょうど雨が降り出していたので、身体の熱のクールダウンとなり、ある意味良かったのではないかと思います。また、イノシシが土を掘り返したり、泥で水路が堰き止められ水たまりになっていたり、さらに、雑草で通りにくくなってあぜ道を整備したので、とりあえずCフィールドまでは歩けるようになりました。次回はキッズの前日に、草刈りと会場の設営を行いたいと思います。よろしくお願いたします。



木を伐り出し、4本の玉切りに。橋の架け替えは大変な力作業でした。



イノシシが掘り起こした歩道を整備！

広島テレビ発 ～森から防災～

森が災害防止にどのように役立っているか、体験を通して考えるイベントに参加



森の防災教室。気象キャスター塚原美緒予報士と共に

広島テレビは開局60周年記念事業として、防災に強い地域づくりに貢献しようと【いま動こう！みんなで防災 PROJECT】を立ち上げています。

その一環として6月4日、尾長天満宮の杜にて『森と防災のつながりを考える一日』のイベントが



森から防災参加の親子



間伐体験



森のクラフト

開催されました。(すでにテレビで放映され、ご覧になった方もたくさんおられるかと思いますが。) 森がどのように防災に役立っているかを、広島テレビ気象キャスター塚原美緒予報士と共に26組(計52人)の保護者と子ども達が、森についての学習、森林間伐体験、クラフト体験を通して森と防災のつながりについて考えました。

当企画については、もりメイト倶楽部 Hiroshima が広島テレビから要請を受け、場所の選定から活動の内容、指導スタッフ等に至るまでのプログラムデザインを山本理事長が担当、終始充実した一日となりました。これからも未来を担う子ども達や、一般の人たちに森づくりの大切さを伝え、啓発に力を注いでいきたいと思っています。

樹木いきいき講座 <その13> 3班 藤原満男



野菜づくり 11年目、初めてトマトが6段の房を付けている。ひたすら脇芽を欠く作業を続けた。カラスなどに横取りされるため、ネットを横からも上からも被せ防護している。

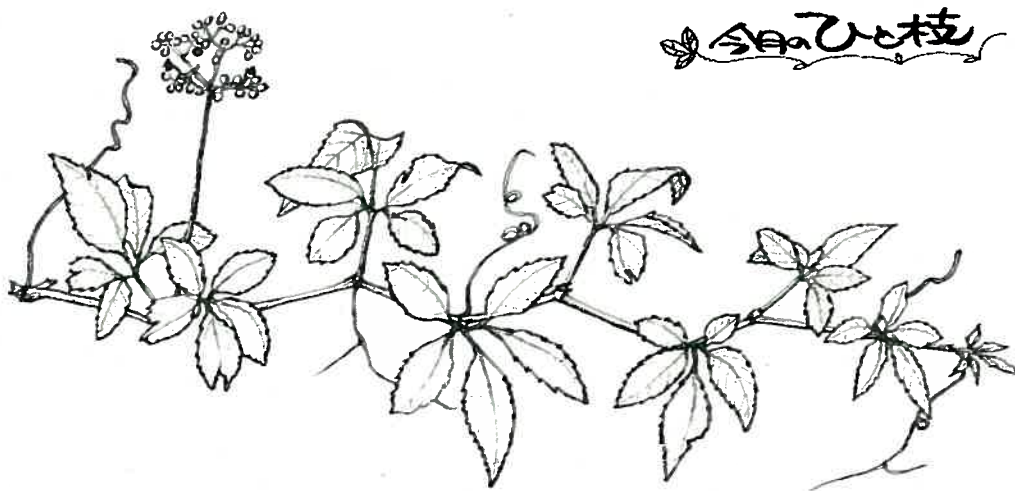
去年はキュウリがたくさん採れた。本葉5枚目までは脇芽を取り続ける。花も実も付けさせない。6から10節までは脇芽から育つ子づるを1節だけ残す。11節からは2節残す。この方法で1株あたり90本余り採れたが、今年是不調で50本位。しかし第2弾が順調で後1週間で収穫が始まる。

カボチャは堆肥の山に植え放任していた。サルに持ち逃げされたり虫に食われ腐った。今年は親づるを早めに摘芯し、脇から伸びた子づるを2本育て、子づるの脇から出る孫づるを欠く。朝開く雌花に雄花の花粉を付ける

花合わせもやってみた。白い食品トレイの中央に穴を開け、裏返して実の下に敷いた。つる1本に4個まで。それ以上欲張ると美味しいカボチャは望めないそうだ。

これら野菜や梅・桃・みかんなどの果樹の剪定は、農家にとって収益に直結するため厳しいものがある。

私ら素人は四苦八苦・工夫しながらも楽しみを中心に据えてやっていきたい。



今ひと枝

原田 澄



ヤブガラシ(藪枯らし) <ブドウ科・ヤブガラシ属>

日本全土に分布し、道端の藪や畑、荒地などによく見られるつる性の多年草。葉は長さ4~8㍉、5小葉からなる複葉で互生し、蔓を伸ばし触れるものに絡みつく。7~9月に直径約5㍉の花を付ける。花は黄緑色の4枚の花弁を持つが、雄しべと共に開花後半日ほどで直ぐに散り、花盤と呼ばれる花の基部が紅色から橙色に変わり良く目立つ。花盤には蜜が豊富でたくさんの昆虫が訪れる。名は、地下に太い根を張り巡らせ、藪をおおって枯らしてしまうほどの旺盛な繁殖力を持つことから。また、人の手の入らない貧乏くさい所に繁茂するので別名ビンボウカズラともいう…▼濃い緑色の葉を青々と葉を茂らせ生命力あふれるヤブガラシ。かなり手強い雑草だが、山菜の一つと聞いた。葉をかじるとネバネバしてぴりっと辛い。根は漢方に。▼勢いのあるヤブガラシは覚えておくと役に立つだろうが、核の脅威が勢いを増して身近に感じられる今、負の教訓に満ちた「原爆の日」の持つ意味は大きい。77回目の8月6日、未来のために過去を直視せねば。祈、平和。 ~2022年7月湯来町にて~



— 8月 — 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

注意

— 広島市から要請 —
「森づくりポイント製品の交換」について

※ 個々で直接の交換はできません。

「ベンチ」は一団体の数が制限されるようになりまし
た。もりメイト倶楽部の会員が森づくりポイント製品
の間伐材ベンチの交換を希望する際は、倶楽部事務局
へ要望して配分へ。事務局が決定の上、引渡しを広島市
森林公園へ連絡して、本人が受け取りに行くというシ
ステムに変わりましたので、周知します。

- 8月7日(日) 小川フィールドで9:00~
地元からの依頼、支障木の撤去・草刈り
を引き続き行います。また、「地域貢献の水
路清掃・防火水槽周りの草刈り」を行いま
す。参加される方は、7時50分
小川フィールドに集合願います。
- 連絡先: 岩田 080-5751-3798

里山部会

～ もりの手紙～

原稿、ご意見、感想募集しています。
是非、こちらのアドレスへ。
tegami@morimate-ch.com



～ 自家木工・クラフト趣味の方、自由に参加お待ちしております～

- 8月は6日・13日・20日・27日の土曜日
- 連絡先: 佐藤 090-1682-6305
satoken069@yahoo.co.jp

クラフト
部会

【第2回もりメイトキッズ8月21日に開催】

～もりメイトキッズにご協力を！～

- 日時 8月20日(土) 9:00~
松ヶ原にて前日の整備を行います。
昼食をご用意ください。
- 8月21日(日) スタッフ集合8:30
当日お手伝いしていただける料理の手伝い
& 設営のスタッフを募集します。ご協力宜
しくお願いいたします。
- 連絡先: 佐々木
mamakin0404@yahoo.co.jp

環研
部会

9月号の会報発送作業は下記の通り実施します。
今後、活動の日程を早くお知らせすることができるよ
うに、発送を1週間早めます。ご協力下さい。

- 日時: 8月31日(水) 18:00~
- 場所: 袋町市民交流プラザ 3F



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って
森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた
木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。
私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

- 【正会員】 : 倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
- 【賛助会員】 : 倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

- 【個人会費】 : 3,000 円
- 【企業会費】 : 50,000 円

お申込み方法

- 下記まで電話、又はメールで
- 【電話】 090-6419-7531
- 【Email】 info@morimate-ch.com

会費・ご寄付の振込先

- 【広島銀行 白島支店】(普) 3 2 8 3 3 8 3
- 【ゆうちょ銀行】 1 5 1 7 0 - 1 8 0 2 9 2 9 1
- 《口座名: 特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》